

## 消耗品・別売品のお買い求めについて

中せんユニット・キャップユニット・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にとまないと傷んでくる場合があります。)

1年を目安にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ(下記「連絡先」参照)

品名	
中せんユニット*1	くちパッキン
キャップユニット*2*4	ふたパッキン
せんパッキン	ポーチ*3
注ぎ口パッキン	コップ*4

\*1 せんパッキン・注ぎ口パッキンつきです。

\*2 ふたパッキン・くちパッキンつきです。

\*3 製品のサイズ、色柄により異なります。

\*4 製品の色柄により異なります。

## 仕様

サイズ	0.6タイプ		0.8タイプ		1.0タイプ	
	中せんユニット	キャップユニット	中せんユニット	キャップユニット	中せんユニット	キャップユニット
実容量	0.6L	0.64L	0.8L	0.84L	1.0L	1.05L
保温 6時間	73度以上	—	77度以上	—	79度以上	—
効力 24時間	45度以上	—	51度以上	—	57度以上	—
保冷効力(6時間)	—	8度以下	—	8度以下	—	8度以下
外形寸法*1*2	幅8.4×奥行9.5×高さ19.3cm	幅8.4×奥行8.5×高さ20.6cm	幅8.4×奥行9.5×高さ23.8cm	幅8.4×奥行8.5×高さ25cm	幅8.4×奥行9.5×高さ28.2cm	幅8.4×奥行8.5×高さ29.5cm
	質量*1*3	0.38kg	0.37kg	0.44kg	0.43kg	0.51kg

\*1 おおよその数値です。 \*2 ポーチを含まない数値です。 \*3 ポーチを含む数値です。

\*保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから24時間及び6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

\*保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。

\*実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

## 連絡先 **タイガー魔法瓶株式会社** 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



**0570-011101**

市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>



タイガー魔法瓶

品番

MBO-A型<sup>1</sup>

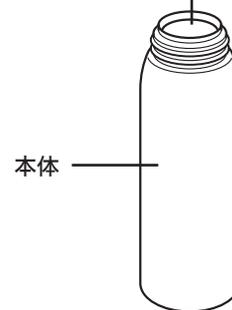
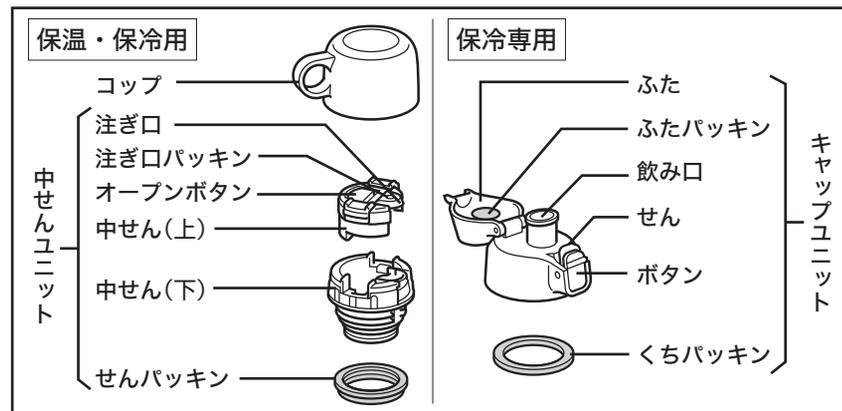
# ステンレスボトル サハラ ポーチつき

## 取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 各部のなまえ

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。



# 安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールと底のシールは、はがさないでください。

**乳幼児の手の届くところには置かない。**

**また、いたずらに注意する。**

やけど・けがなどのおそれ。



**中せん・キャップユニットは、確実にしめ、ロックされていることを確認する。**

内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

**ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。**

内圧が上がリ、中せんユニットやふたがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

**牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。**

腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がリ、中せんユニットがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

**みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。**

腐敗・変質・サビのおそれ。

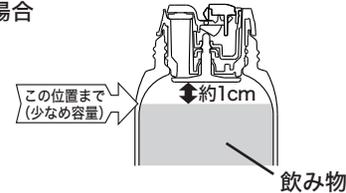
**お茶の葉・果肉などは入れない。**

目づまりし、もれるおそれ。

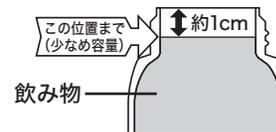
**飲み物の量は、図の位置までにする。**

入れすぎると、オープンボタンがかたくなつたり、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。

中せんユニットの場合



キャップユニットの場合



**肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。**

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



**スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**

外出時など充分なお手入れができないうちでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

**倒したり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。**

破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。

**コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。**

やけど・変形・変色の原因。

**飲み物の保温・保冷以外に使わない。**

**冷凍庫に入れない。**

内容物がもれたり、破損のおそれ。

**ポーチのベルトを持って振りまわさない。**

人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

## 安全上のご注意

本体外側が濡れている状態で、ポーチに入れない。

サビ・においの原因。

ポーチは濡れたまま使わない。

衣服などに色移りするおそれ。

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

塩素系漂白剤は使わない。

サビたり、穴があく原因。

ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。

ファスナー等の金属部が変色するおそれ。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。

はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。



保護シート  
(本体外側の底)

本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。

はがれる原因。



中せんユニットを使うとき

熱いものを入れた場合は、必ずコップを使って飲む。

本体から直接飲むと、やけどなどのおそれ。(断熱効果により、熱いものを入れても外側は熱くなりません。)

本体を傾けた状態や、顔などを近づけた状態で、オープンボタンを押さない。

熱湯が勢いよく出て、やけどのおそれ。

注ぎ終わったら、本体を立てた状態にして、必ず注ぎ口を押してコップをしめる。

内容物がもれるおそれ。



キャップユニットを使うとき

熱いものを入れない。

やけどなどのおそれ。



キャップユニットをセットした状態で飲み口から飲み物を入れない。

こぼれたり、転倒する原因。



氷を入れると本体の内圧が下がり、ふたをあけたときにふたパッキンはずれることがあるので、その場合はもとの位置につけなおす。→P.13

飲み物は、できるだけ早く飲みきる。

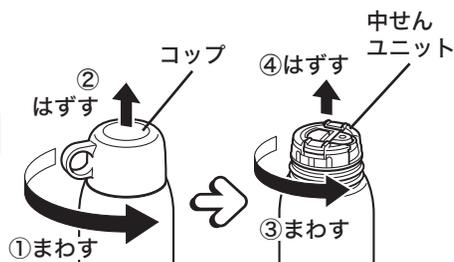
長時間放置した場合は、腐敗によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出たり、キャップユニットが破損して、けがなどのおそれ。

# 中せんユニットの使いかた

## 1 コップ・中せんユニット をはずす。

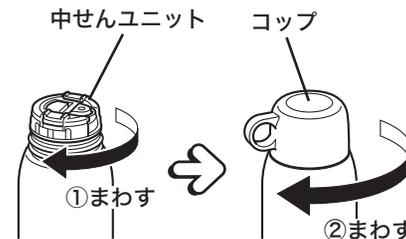
はじめて使うとき

本体内侧・中せんユニット・コップをお手入れする。→P.11



## 4 中せんユニット・コップ をしめる。

●中せんユニット・コップがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

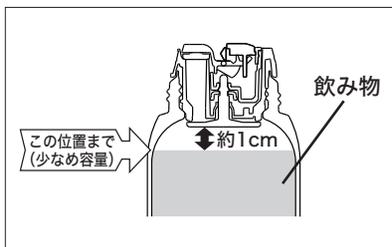


## 2 保温(保冷)効果を高めたいときは、 少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

## 3 熱い(冷たい)飲み物を 入れる。

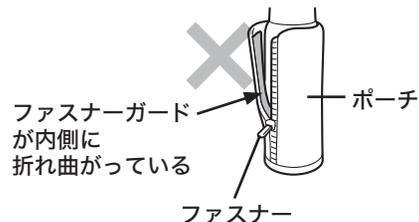
- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。
- 熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。お茶のときは、中せんが目つまりするおそれがありますので、ティーバッグなどをおすすめします。



## 5 本体をポーチに入れる。

ご注意

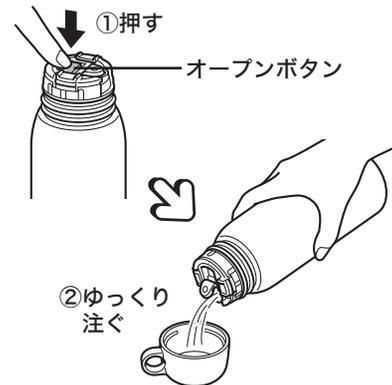
ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。本体に傷がつくおそれ。



## 6 コップをはずし、 オープンボタンを押して から本体を傾けて、 飲み物を注ぐ。

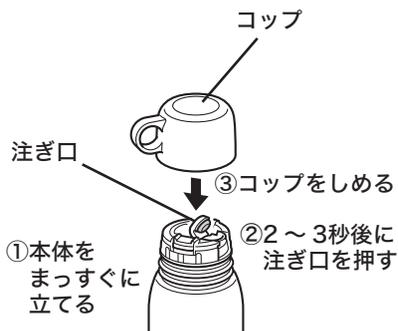
ご注意

本体を傾けた状態でオープンボタンを押さない。熱い飲み物が勢いよく出るおそれ。



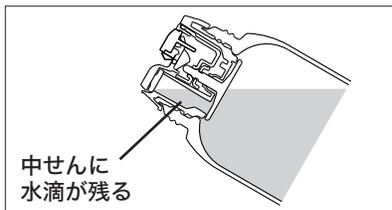
## 7 注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後に注ぎ口を押してからコップをしめる。

コップの内側に残った「水滴」を振り切り、よくふいてからしめる。



### ご注意

- 本体を傾けた状態で注ぎ口を押さない。中せんユニットの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。



## 1 中せんユニット・コップをはずす。→P.3

### はじめて使うとき

- 本体内側・キャップユニットをお手入れする。→P.11
- ふたパッキン、くちパッキンがついていることを確認する。→P.13

## 2 保冷効果を高めたいときは、少量の冷水を入れ、1～2分予冷する。

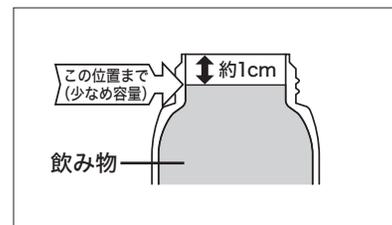
予冷後は、水をすてる。

## 3 冷たい飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

### ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。



4 本体を立てた状態にして  
キャップユニットをしめる。

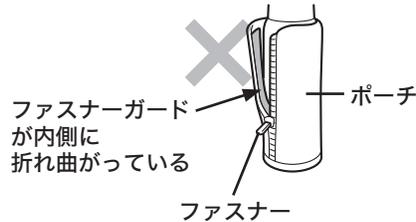
キャップユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。



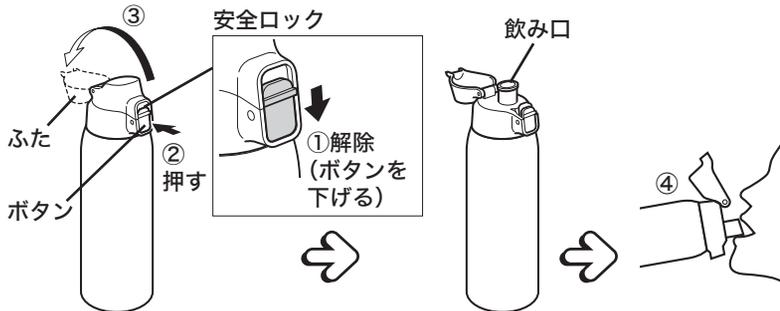
5 本体をポーチに入れる。

ご注意

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。  
本体に傷がつくおそれ。



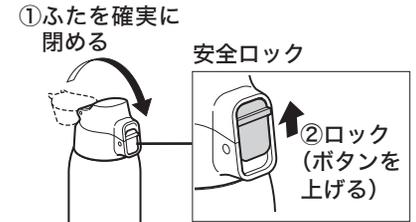
6 安全ロックを「解除」にして  
ボタンを押し、ふたをあけて飲む。



7 飲み終わったら、  
本体を立てた状態にして  
ふたをしめ、安全ロックを  
「ロック」にする。

ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。  
安全ロックを「ロック」にしても強い衝撃でふたがあくおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。  
横にすると、もれるおそれ。



# お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れして、十分に乾燥させる。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・フキンはやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、中せんユニット・キャップユニットをこまめにお手入れする。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。)
- ③水分を十分に振り切り、乾燥させる。

ポーチ



水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いしてください。(洗濯機・乾燥機は使用できません。)

※ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。ファスナー等の金属部が変色するおそれ。

## ご注意

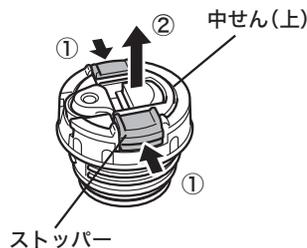
- 本体のつけおき洗いはしない。中せんユニット・キャップユニット・ポーチを本体につけたまま、本体を洗わない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- パッキン類は必ず取りつける。→P.12・13
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

## 中せんユニットと各パッキンのはずしかた・つけかた

### 中せんユニットのはずしかた・つけかた

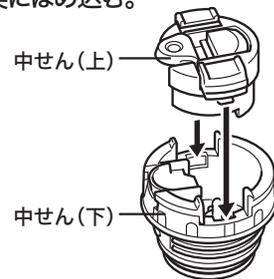
#### ■はずしかた

中せん(上)のストッパーを押してはずす。



#### ■つけかた

中せん(上)を中せん(下)に確実にはめ込む。

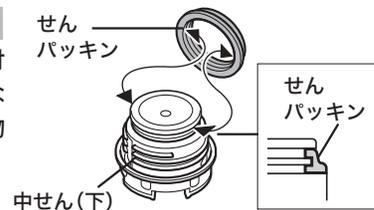


### せんパッキン・注ぎ口パッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、奥まで確実にはめ込む。

#### ご注意

せんパッキンの取付位置、方向を間違えないようにする。内容物がもれるおそれ。

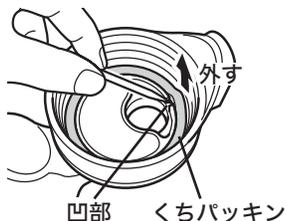


キャップユニットの各パッキンの外しかた・つけかた

くちパッキンのはずしかた・つけかた

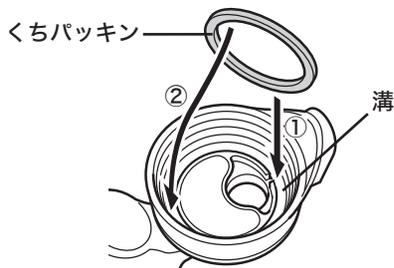
■はずしかた

先が細くやわらかい棒（つまようじなど）を凹部に差し込みはずす。（金串などは使わない。）



■つけかた

溝に確実にはめ込む。



ふたパッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、つける場所と取付方向を間違えないように、奥まできっちりはめ込む。



「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が本体内側に付着したときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」は、水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）です。汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ①クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

※クエン酸は、お近くのスーパーや薬局でお買い求めください。

※市販のポットおよびボトル洗浄剤は使わない。パッキンなどが傷むおそれ。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
中せんユニットやキャップユニットから飲み物がもれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが確実にセットされていますか。</li> <li>▶ 中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが損傷していませんか。</li> <li>▶ 飲み物を入れすぎていませんか。</li> <li>▶ 本体を傾けた状態で注ぎ口を押していませんか。</li> <li>▶ 中せんユニットのオープンボタンを押した状態で、コップをしめていませんか。</li> <li>▶ ふたが確実にしまっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 確実にセットする。→P.6・9・12・13</li> <li>▶ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→裏表紙</li> <li>▶ 入れすぎないようにする。→P.5・8</li> <li>▶ 注いだ後は、本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後に注ぎ口を押す。</li> <li>▶ 注ぎ口を押してから、コップをしめる。→P.7</li> <li>▶ 確実にしめる。→P.10</li> </ul>
オープンボタンが押せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 飲み物を入れすぎていませんか。</li> <li>▶ 熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたくて押せないことがあります。（無理やり押さない。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 無理に押さず、1度中せんユニットをはずして、飲み物を少量する。→P.5・6</li> <li>▶ 1度中せんユニットをゆるめ、オープンボタンを押し、そのまましめ直す。→P.5・6</li> </ul>
オープンボタンを押したときに「シュッ」と音がする。	▶ 空気が抜ける音で、異常ではありません。	
保温（保冷）が効いていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→P.2</li> <li>▶ 熱い（冷たい）飲み物を入れていませんか。</li> <li>▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。</li> <li>▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 熱い（冷たい）飲み物を入れる。→P.5</li> </ul>
ふたがあかない。	▶ 安全ロックを「ロック」にしていますか。	▶ 安全ロックを「解除」にする。→P.9
本体内側や中せんユニット・キャップユニットから臭いがする。	▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていますか。	▶ お手入れする。→P.11～13
キャップユニットに水滴がつく。	▶ 製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。	
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	▶ 保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入れている銅箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。	